



学校だより

横浜市立秋葉中学校

電話 811-6773 FAX 813-9438



チャレンジする心を

校長 松本 忠司

令和4年度が始まりました。今年度は、新入生195名を迎え、全校生徒560名でのスタートです。市内では、今でも新型コロナウイルス感染症の流行が続いていることから、入学式や始業式などは校内テレビ中継を利用した行事となりましたが、新しい1年の節目とすることができました。これからは感染症予防については細心の注意をしなければなりません、できることを考え、工夫して、教育活動を推進してまいります。今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

新年度をスタートするにあたり、始業式や入学式では、生徒に「自分の目標を意識し、考え、チャレンジして、自分を高めていってほしい。」という主旨の話をしました。

本校では、学校教育目標を「自主 創造 共生」として表し、次の資質・能力を育んでいきたいと考えています。

- * 自らの可能性を求め、課題解決に向け粘り強く取り組む力
- * 相手の人格を大切にし、正しく判断し行動する力
- * すべてのいのちを大切にし、健康でたくましい体や豊かな感性
- * あいさつを大切にし、社会への視野を広げ、共に生きる力

これらは、生徒にとって将来も必要になる力でしょう。学校生活を送るうえで、日頃からこの学校教育目標も意識して活動することで、自らの成長につなげてほしいと願っています。

また、チャレンジすることは、学校教育目標の「自主」にもつながります。「チャレンジ精神」をもって様々なことに取り組むことで、自らの可能性を広げてほしいとも願っています。

ところで生活が大きく変化するこの時期は、心の不調を起こしやすい時期であるともいわれます。そこで、メンタルヘルスの問題を予防する方策の一つとして、「こころのABC活動」が、早稲田大学健康科学研究室と全国健康保険協会により推奨されています。これは、うつ病の治療に効果があるとされる行動活性化療法の考え方をベースにし、メンタルヘルスが良好な人が日常生活で意識して行っていることに注目した活動で、その内容には、A(Act:アクト=行動する)、B(Belong:ビロング=参加する)、C(Challenge: チャレンジ=挑戦する)、の3つがあるそうです。例えば、好きな趣味に興じたり、積極的に体を動かしたりすること。友人や家族と話をすること。趣味の会や友人との会、何かの集まりに参加して帰属感を持ったりすること。新しいことに挑戦したり、何かに献身したりすること。などの活動で、よいことに目を向けて行動することで、心の状態をよい方向に向けていく、というものです。

集団に所属し、できることにチャレンジして、行動すること。これは、本校でも生徒に推奨していることですが、心の健康にもつながるということを最近知り、私も驚いているところです。新型コロナにも負けない心と体を作るために、皆様も、ちょっと意識して、取り組んでみてはいかがでしょうか。



令和4年度 職員紹介

校 長 松本 忠司		副校長 柏木 佑介	
学年組	1 年	2 年	3 年
学年主任	佐藤 公章 (数学)	川口 雪枝 (国語)	戸田 一弘 (理科)
1組担任	渡邊由美子 (国語)	谷口 恵美 (数学)	田村摩利恵 (音楽)
2組担任	坂本 諭 (英語)	横山 貴裕 (理科)	荒木 響子 (数学)
3組担任	佐々木太一 (保体)	宇津澤香朱美 (英語)	佐藤 美見 (国語)
4組担任	菊池 順子 (家庭)	佐藤由紀子 (保体)	大垣 智子 (英語)
5組担任	山口 貴也 (理科)	山中 康平 (技術)	高橋 裕太 (保体)
7組担任	安江 茂樹・松本 淳子・濱野 夏帆 (サポート非常勤)		
副担任	松岡 洋一 (社会) 平沼 浩之 (保体)	遊馬 英樹 (社会) 並木 浩 (美術)	本間健太郎 (社会) 藤本 孝幸 (数学) 宮本 晶 (英語)
生徒指導専任	菱沼 直也 (国語)	進路指導主任	藤本 孝幸
養護教諭	伊藤 京子	事務職員	山内 恵子
学校用務員	星野 玉青・桑島富士男		
ICT支援員	中川 さおり	学校司書	南條 しの女
スクールカウンセラー	高田 航	SSW	田中 正子
特別支援コーディネーター	佐藤由紀子・安江茂樹・菱沼直也・高橋裕太		
職員室業務アシスタント	齋藤 裕之・丸山 美穂		
特別支援教育支援員	高橋 定雄・高重 三雄・高草木 重昭		
初任者指導	赤堀 国和		

*伊藤 朋美 教諭と神尾 知美 教諭は引き続き育休となります。

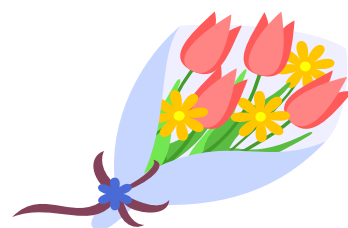


離任職員のお知らせ

鈴木 博道	副校長	丸山台中学校へ
高崎 忠祉	教諭	南が丘中学校へ
奥貫 太一	教諭	横浜吉田中学校へ
小越 華恵	養護教諭	浜小学校へ
稲村奈津美	教諭	汲沢中学校へ
内藤 誠一	教諭	市場中学校へ
大村 文子	教諭	森中学校へ
尾崎 将弘	教諭	下瀬谷中学校へ
斎藤ちづ子	教諭	大門小学校へ
増田 麗	養護教諭	馬場小学校へ
堅持 孝子	非常勤講師	森中学校へ
深澤 良江	非常勤講師	退任
松元 啓介	初任者指導	南戸塚中学校へ
木下 信之	学校医（眼科）	
加藤 秀子	学校薬剤師	

着任職員を紹介

柏木 佑介	副校長	秋葉小学校より
遊馬 英樹	教諭	栗田谷中学校より
横山 貴裕	教諭	保土ヶ谷中学校より
坂本 諭	教諭	大道中学校より
宮本 晶	教諭	港南中学校より
松本 淳子	教諭	森中学校より
菊池 順子	教諭	新採用
松岡 洋一	教諭	新採用
伊藤 京子	養護教諭	橘中学校より
赤堀 国和	初任者指導	深谷中学校より
井上 順	学校医（眼科）	
赤金 知子	学校薬剤師	



※昨年度、退任のお知らせをいたしました 濱野 夏帆 教諭につきましては、今年度も引き続きの勤務が決まりました。

専任コーナー



今年度も引き続き、生徒指導専任を務めさせていただき菱沼直也と申します。1年間、よろしくお願いいたします。生徒一人ひとりが「安心・安全で豊かな学校生活」が送れるよう、生徒や保護者の皆様の相談にのり、多くの関係機関(区役所、児童相談所、警察、医療機関、横浜市不登校支援事業など)との連携も深めながら、一緒に考えていきたいと思っております。

生徒たちは新しい環境の中で、学習や部活動、行事に一生懸命取り組んでいきます。ご家庭でその頑張りを認めていただけると、子どもは前向きな気持ちになり、次への活力を養うことができます。一方で、頑張りすぎて疲れてしまう子や、思うようにいかず落ち込んでしまう子もいます。私たちも生徒の様子を観察し、その変化に気付くようにしていますが、ご家庭でも気を付けて見ていただきたいと思います。もし、何かお気づきのことやお困りのことがございましたら、些細なことでも構いません。学校までご連絡ください。子どもたちが心身ともに健康でいられるように、学校と家庭が連携して、子どもたちを支えていきたいと思っております。今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。

専任日より『ひっしーめーる』を月2回程度発行いたします。子どもたちや保護者の皆様に考えてほしいことや知ってほしいことを載せ、裏面には相談用紙をつけます。また今年度から「QRコードとGoogleフォームを活用したオンライン相談」や「学校からの情報提供の一環としてメール配信を活用した『ひっしーめーる』の定期配信」を考えています。詳細は今後配付(配信)される『ひっしーめーる』でご確認ください。

生徒指導専任 菱沼直也

【各種相談窓口】

○学校生活全般について

<生徒指導専任> 菱沼 直也 電話番号：(811) 6773

○カウンセリング (毎週火曜日 9時30分～17時)

<スクールカウンセラー> 高田 航 直通電話：(811) 8903

○特別支援教育に関すること

<特別支援コーディネーター>

安江 茂樹・佐藤由紀子・菱沼 直也・高橋 裕太

電話番号：(811) 6773

○学校におけるセクシュアル・ハラスメント

<養護教諭> 伊藤 京子 ・ <副校長> 柏木 佑介

<生徒指導専任> 菱沼 直也 電話番号：(811) 6773

<教育総合相談センター> (月～金 9時～17時)

電話番号：(671) 3726

*今月の予定につきましては、別紙「令和4年度 4月行事予定表」をご確認ください。